

コロナ禍で見た移民社会の実像と今後の課題

□はじめに

「コロナ禍で見た」→新型コロナウイルスが教えてくれた
日本における外国人とは 海外につながり（ルーツ）を持つ人々

□事例事象から

労働問題、生活問題

- ・一時帰国した母国での解雇通知を受けた技能実習生
母国で自宅待機をする技能実習生
- ・空港で入国拒否されたベトナム人労働者 技術・人文知識・国際業務（技人国）
- ・派遣切りで解雇が始まっている日系労働者
- ・仕事がなくなった留学生 外食産業
- ・期間が満了しても帰られない技能実習生

労働問題 在留資格による問題の現れ方 * グラフスライド参照

生活問題 在留資格、国籍による問題の現れ方 差別、ヘイト

□明らかとなった偽装

メイドインジャパンと地産地消を支える力 野菜の高騰と品不足

外国人技能実習生 職種変更、特定技能への誘導 * グラフスライド参照

本末転倒の保護、救済

□保護、救済の対象者とは

感染症予防法 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

ひとりも残さず SDGs やビジネスと人権 オリンピック・パラリンピック

□これから起きること、取り組むこと

不可分な生活領域と労働領域

派遣切り、解雇、倒産、住まい 2007年リーマンショックとの違い

ひとりも残さず SDGs やビジネスと人権 オリンピック・パラリンピック

この社会が試されている。共生社会 空文句ではなくどう実践していくのか。

労使対等原則が担保された多民族・多文化共生社会